

北海道建設新聞

帯広建管が工事等優秀者表彰

5社の功績たたえろ

今後も十勝の発展に貢献を



平成23年度 建設部工事等優秀者表彰式

【帯広発】帯広建管は三日、十勝合同庁舎で二十三年度建設部工事等優秀者表彰式を執り行った。木村篤副局長が工事部門で受賞した五社の代表者に感謝状を授与。一人ひとりに表彰状を手渡し、功績をたたえた写真。

はじめに木村副局長があいさつ。「業界を取り巻く環境が厳しい中、切磋琢磨し、優れた技術力と努力で施工していただいたことは帯広建設管理部としても大きな誇り。これからも一層の技術力や人材育成の向上に努め、北海道や十勝の発展に貢献してほしい」と期待を寄せた。木村副局長がそれぞれの

功績をたたえながら、代表者一人ひとりに表彰状を授ちた顔で撮影に応じていた。出席者全員で記念撮影した。

11年度の道建設部工事等優秀者表彰

5社の功績たたえろ

帯広建管で感謝状授与

【帯広】帯広建管は3日、十勝合同庁舎で2011年度道建設部工事等優秀者表彰の感謝状贈呈式を行い、木村篤十勝総合局副局長が受賞5社の社長らに感謝状を授与し、功績をたたえた。

十勝管内の受賞者は全て一般土木。A等級で西江建設(本社・帯広)と宮坂建設工業(同)、B

等級で三島組(本社・幕別)、C等級で萬和建設(同)、D等級で永光建設(本社・帯広)が選ばれた。3日の表彰式には各社の社長らが出席し、木村副局長が感謝状を手渡した。

木村副局長は、十勝から一般土木の全等級で受賞者を輩出できたことについて「優秀な技術力を

持っていることを証明した。誇りにしたい」と強調。「受賞を励みに皆さんが先頭に立ち、この地域を引っ張っていかってほしい」と一層の活躍に期待した。

表彰式後の意見交換会
.....
木村副局長(左)が各社の社長らに感謝状を手渡した



では、各社の社長らが謝辞を述べ、地域の安全・安心、利便性の提供や建設業の魅力向上などに向けて一層努力するなどの決意を示した。